【議事録】令和７年度　下関市立美術館協議会

日　時　令和８年（２０２６年）３月２６日（木）午後２時から午後３時３０分まで

会　場　下関市立美術館　講堂

出席者　協議会委員（出席１０人）
河野 哲二、文 芝瑛、原田 由美子、朝原 嘉彦、重井 民雄、戸﨑 由弥、
森永 由貴枝、酒井 一、五十嵐 美紀子、西村 奈都子
下関市教育委員会
教育部理事　藤井 長武
下関市立美術館
館長 桝谷 範一、館長補佐 渡邉 祐子、学芸員 久光 真央
会計年度任用職員（学芸員）　髙村 典子

傍聴者　　なし

次　第	発言者	内　　容
１ 開会	事務局（館長補佐）	ただ今から令和７年度の下関市立美術館協議会を開催いたします。まずはじめに本日の会議の配付資料ですが、お手元に次第、委員名簿、会議資料をお配りしておりますので、ご確認のほどお願いいたします。抜けがありましたらお知らせください。本協議会の委員は、昨年の令和７年９月から令和９年８月までの２年間を任期として、１０名の方を委嘱しているところです。本日、ご出席の委員は１０名で、定数の過半数を上回りますので、下関市立美術館の設置等に関する条例施行規則第８条の規定により会議が成立していることをご報告いたします。本日の協議会は公開で行われ、議事録は後日下関市ウェブサイトにて公開する予定です。なお、本日、傍聴の方はいらっしゃいません。
２ 委員及び出席者紹介	事務局（館長補佐）	それでは次第に沿って進行させていただきます。まず本日ご出席の委員のご紹介をいたします。氏名と役職名等は、お手元に配付の委員名簿のとおりでございますので、事務局からの紹介はこれに代えさせていただき、お一人ずつ、自己紹介をしていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。 （自己紹介は省略）

３ 教育長挨拶（代理）	事務局（館長補佐）	続きまして、下関市教育委員会 教育長が本日下関市議会本会議が続いているため出席ができなくなりました。下関市教育委員会 理事 藤井長武が代理でご挨拶申し上げます。
	藤井教育部理事	皆様こんにちは。教育部の藤井と申します。本日、教育長の出席が叶いませんでしたので、ご挨拶を預かってきております。代読をさせていただきます。本日は、委員の皆様方には、大変お忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、平素から下関市立美術館の運営に関して格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。下関市立美術館では、令和７年度におきましても市民が芸術に親しみ、楽しむことができる魅力的な展覧会の企画、開催に努めてまいりました。展覧会の主なものについて紹介させていただきますと、昨年５月から７月にかけては「花の宮廷画家ルドゥーテ」を開催しました。ルドゥーテは、マリー・アントワネットやナポレオン１世皇妃ジョゼフィーヌに仕えた植物画家で、彼が原画作成を手掛けた版画作品に加え、貴重な肉筆画も紹介し、多くの方にご来場いただきました。また、９月から１０月にかけては、「古代エジプト・ふしぎ発見！」を開催しました。こちらは、岡山市立オリエント美術館と共同企画展として開催したもので、当館の所蔵品を含む中国地方所在のコレクションを中心に、エジプト文明の魅力を紹介しました。こちらも大変好評で、子どもさんも非常に多くご来場いただきました。１１月以降は、施設改修のために長期休館となりましたが、その間、さまざまな普及啓発事業に取り組み、今月の初旬には、「移動美術館 in やすらガーデン」と題し、当館が保有する狩野芳崖の高精細な複製画７点を館外に持ち出し、ガラスケースなしの至近距離で鑑賞し、楽しんでいただきました。本日は、こうした今年度の取組状況に加え、来年度の運営計画を委員の皆様にご報告させていただきます。本協議会は、さまざまなお立場の委員の皆様から、美術館運営に関するご意見、ご助言をいただいた上で、美術館の運営の改善に繋げ、市民の方々の芸術文化の創造と振興の場として、開かれた美術館づくりを一層進めていこうとする趣旨で開催するものでございます。どうぞ本日は忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いします。以上、代読させていただきました。それでは、本日はよろしくお願いいたします。

４　正副会長の選任について	事務局 （館長補佐）	続きまして、次第４「正副会長の選任について」でございます。選任は、下関市立美術館の設置等に関する条例施行規則に基づき、委員の互選により行います。つきましては、どなたかご推薦の方はいらっしゃいますでしょうか。 ないようでしたら事務局から推薦させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。会長を五十嵐委員に、副会長を重井委員にお願いしたいと思います。これについて、ご異議等はございますでしょうか。 異議なしでしたら、事務局の提案のとおりと決定いたします。それでは会長、副会長、恐れ入りますが、お席をご移動いただけますでしょうか。 それでは、会長、副会長より一言ご挨拶をお願いいたします。
	五十嵐会長	五十嵐と申します。皆様のそれぞれの立場から貴重なご意見をお聞かせいただければと存じます。よろしくお願いいたします。
	重井副会長	副会長に就任させていただきます。よろしくお願いいたします。
	事務局 （館長補佐）	ありがとうございます。ここからの進行については、五十嵐会長にお願いをいたします。
５　議事 議題１ 令和７年度事業報告について	五十嵐会長	それでは早速ですが、「議題１　令和７年度の事業報告について」、事務局からお願いします。
	事務局 （館長）	それでは説明させていただきます。本日の議題に係る事務局の説明につきましては、お配りしている「令和７年度 下関市立美術館協議会 資料」に沿って進めて参ります。ホッチキス留めをした１１ページまでの資料とその後ろに添付している別紙資料とあわせて見ていただきながらお聞きいただきますようお願いします。では、まず「議題１　令和７年度事業報告について」でございます。
１　施設概要	事務局 （館長）	資料の１ページ目をご覧ください。「１　施設概要」について簡単にご説明させていただきます。施設概要につきましては、後ろに添付しております別紙１をご覧ください。こちらに現在の美術館の建物や設備の概要、職員体制、また施設の管理の状

		況等をまとめております。別紙１の１ページ目の上の方ですが、開館が昭和５８年１１月１９日で、現在、４２年を経過したところで、これまでも必要な改修、修繕をしてはきましたが、施設設備の老朽化、旧式化への対応が課題となっています。次に別紙１の３ページです。「職員の現況」をご説明します。令和７年度は職員数８名でございます。前年度が１０名だったため、今年度は２名減となっております。そのうち学芸員の配置ですが、８名のうち５名が学芸員で、うち３名が常勤職員、２名が会計年度任用職員となっております。この５名の学芸員を中心に、展覧会や普及教育事業の企画立案、事業の実施を進めてまいりました。最後の６ページ目をご覧ください。「その他」をご覧ください。改正博物館法に基づく新たな博物館登録制度に係る対応についてでございます。令和５年４月に施行された改正博物館法において、新たな博物館登録制度が設けられました。これまでも博物館法における登録制度はありましたが、その登録基準は、専門的職員としての学芸員がいるか、博物館資料を持っているか、土地や建物があるか、博物館の開館日数が１５０日以上かどうかといった、外形的な要件のみを判断するものでした。しかしながら、それらの要件は、博物館としての活動の在り方を問うものではなかったために、必ずしも博物館活動の質を保証したり、その向上を促すものではありませんでした。新しい登録制度では、その審査基準として、資料を取り扱う体制や、学芸員を含む職員の配置、施設・設備について新しい基準を定め、外形的な要素にとどまらず、活動の実質的な要素についても確認していくこものとなりました。この度、あらためて登録の申請を行い、山口県教育委員会による審査を経て令和８年1月２０日に新しい制度での登録となりました。施設概要は以上です。
２　予算	事務局 （館長）	次に、資料の１ページ目にお戻りいただき、「２　予算」についてご説明させていただきます。美術館が執行管理している予算のご説明となります。「（１）令和７年度予算」と「（２）前年度（令和６年度）予算及び決算」については、それぞれ別紙２及び別紙３でお示ししています。令和７年度はほぼ終わりとなりましたが、「（１）令和７年度の当初予算」は、表にあるとおりの６つの事業に係る経費として、合計で１億５，２３８万３千円を計上し、運営してまいりました。なお、上から２段目、美術館改修業務のところにも記載しているとおり、今年度は展示部門空調設備改修工事のため、１１月中旬から年度末まで休館をいたしました。次に「（２）前年度予算及び決算」について

		ですが、前年度は予算額１億２，７１８万８千円に対し決算額は１億１，６３９万６千円で、執行率９１．５％でございました。不用額の主なものは、管理運営業務の光熱水費や委託料で、その理由としては光熱水費が見込みを下回ったことや委託料については、入札による執行残によるものでございます。
３　業務別事業実施状況 (1)管理運営業務	事務局 （館長）	資料にお戻りいただきまして、「３　業務別事業実施状況」についてです。ここから具体的に今年度の業務の運営状況についてご説明させていただきます。「（１）管理運営業務」についてでございます。管理運営業務は、美術館の施設管理及び運営に係る業務を行うものです。主な取組としては、「イ　施設の改修」に記載していますとおり、展示室の空調機の改修工事を実施しております。具体的には、展示室４室に関わる空調設備の老朽化した機器部品の更新、さらに１階の展示室では特に冬季に乾燥傾向になり、湿度コントロールに苦慮していたことから、加湿器を新たに設置し、温湿度管理をより適正におこなえるように改修を実施いたしました。次に、「ウ　施設使用」についてです。美術館では、展示室・講堂等、造形室、陶芸のための窯場を一般利用に供しております。展示室、講堂等とは、展覧会の開催を目的とした展示室等の利用で、個人・団体で展覧会を開催するために、１階の展示室、中央の光庭と呼んでいる吹き抜けのホール、展示室４から接続できる講堂を対象に貸し出しております。また、造形室とは、美術館の地階、通用口から入ってきていただきましたが、そのフロアにあります。アトリエとして使っていただける部屋があり、こちらで絵画の制作や焼き物の制作など、さまざまな造形活動ができるようになっており、この部屋も貸し出しをしております。また陶芸のための窯場とは、造形室で陶芸の活動された方が焼き物の焼成を行うための陶芸窯で、こちらも貸し出しを行っております。こちらの表はこれらの貸し出しの利用実績をまとめたものとなります。続いて、「（２）展覧会開催業務」のところからは、学芸員である館長補佐の渡邉からご説明させていただきます。
(2)展覧会開催業務	事務局 （館長補佐）	「（２）展覧会開催業務」です。令和７年度は、企画展示を２本、所蔵品展示を２本実施しました。ほかに下関市芸術文化祭美術展、施設使用による市民ギャラリーの展示が９本開催されました。資料には１０本とありますが９本と訂正いたします。令和７年度は１１月をもって展覧会開催の日程を終了いたしました。これらの来館者数の詳細につきましては、別紙４の資料をご覧ください。美術館主催の展覧会への来館者は、所蔵品展示と企画展示を合わせて、２万５，０４３人。館内で実施し

		た催事の参加者が９８３人。市民ギャラリーと芸術文化祭美術展の来館者が９，６７６人で、合計３万５，７０２人となります。開館日数は１６７日で、３月５日までの集計です。昨年令和６年度の来館者数は合計２万７，７００人、開館日数は２５９日であり、今年度は限られた開館日数にもかかわらず、特別展を中心に多くの方にご来館いただきました。議題１の２から４ページで、展覧会についてご報告しています。企画展示では、まず特別展「花の宮廷画家ルドゥーテ」を開催しました。１８世紀フランスの宮廷画家で、バラの画家として知られたピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテの作品を紹介しました。展示室では作品の細部を観賞するための虫眼鏡の貸出し、植物画の塗り絵コーナーなども好評を博しました。会期中は期間限定で、市内の小中学校で育てた花を美術館のアプローチに飾る企画「学校の花で美術館を彩る」を実施し、一般来館者を迎えました。２本目の企画展示、特別展「古代エジプト・ふしぎ発見！」は、岡山市立オリエント美術館からのお誘いを受けて実現した自主企画展でした。下関市立美術館が所蔵する古代エジプト関連資料も展示の中で重要な位置を占めました。かつて２００５年に京都文化博物館ほかで開催された特別展でその一部が紹介されて以降、広く紹介される機会に恵まれてきませんでした資料が、この度久しぶりに光を当てられることになったと言えます。なお、このエジプト展の時期からＳＮＳ向けに展覧会をＰＲするショート動画の作成と公開を始め、若い世代や家族連れの集客につながりました。動画コンテンツの作成と公開は、今後も可能な範囲で続けたいと考えています。続いて所蔵品展示です。所蔵品展１６７では、美術館友の会会員の声を反映した作品のラインナップや、作品の人気投票コーナーを設けるなど工夫を凝らしました。所蔵品展１６８でもコラージュを体験できるオープンアトリエコーナーを設けるなどして夏休みの親子連れに好評でした。３ページで、所蔵品展示に連動した特集展示、市役所の出張展示についても報告しています。下関市芸術文化祭美術展の来館者数はほぼ横ばい。今年度の市民ギャラリーは８月末までの会期で終了しております。展覧会開催業務については以上となります。
(3)美術作品資料収集保管業務	事務局 （館長補佐）	続けて、４ページ、「（３）美術作品資料収集保管業務」についてです。令和７年度の美術資料収集審査会は２月２３日に開催しました。その結果、５ページの５４件の美術作品及び資料を新たに収集することになりました。今年度の収集を加えると、（ウ）の一覧表のとおり、下関市立美術館の所蔵品の総点数は

		２，７００件となります。それぞれの詳細は、別紙５をご覧ください。続いて６ページ、所蔵品貸付について報告します。今年度は３件１５点の作品を貸し出しました。府中市美術館での藤田嗣治展、下関市立歴史博物館での昭和１００年を記念した特別展は既に終了し、作品は返却済です。東京国立近代美術館と和歌山県立近代美術館での下村観山展はちょうど始まったところです。作品貸出しを通して下関市のアピールにも繋がるほか、こうした特別展の機会にまとまった調査が行われることで、新たな知見が得られることにも期待しています。7ページ、「ウ その他」として、美術館の公式ウェブサイトに所蔵品検索システムを公開し、運用を始めた件をご報告しています。これまでウェブサイト上で準備中となっていましたが、先々週運用を始めたところです。今のところ全体の４割程度の掲載に留まっておりますが、内容のチェックをした上で順次公開を進めて参ります。これにより、下関市立美術館が誰のどのような作品をいくつくらい所蔵しているのか、所蔵品の概要が見えるようになり、作品の基本的な情報も検索が可能になります。
(4)調査研究業務	事務局 （館長補佐）	「（４）調査研究業務」です。所蔵作品・資料に関する調査や資料の収集を行いました。こうした日頃の調査研究活動の成果を、今後の展覧会開催、普及教育活動の実施に生かして参ります。
(5)普及教育業務	事務局 （館長補佐）	「（５）普及教育業務」です。今年度もアからエまでの講座やイベント、ワークショップ、実習受け入れなどを行いました。詳細については別紙６の資料をご覧ください。別紙６の１から２ページ、「ア」の催しのうち、館内催事では、件数や参加人数の面で特別展に関連した催しが目立ちますが、一般向け及び子ども向けの実技講座・ワークショップも、各学芸員の提案を元にメニューを多様化して実施してきました。改修工事で展覧会の実施がない時期にも、日頃見ることのできない美術館のバックヤードを案内するバックヤードツアーを行いました。近年、学芸員という仕事があまり身近でなくなってきて、若者にとってアクチュアルな仕事の選択肢でなくなってきたなどの話を耳にすることがあります。そうした中、バックヤードツアーや学芸員お仕事体験といった取り組みは、学芸員や美術館の仕事の裏側を紹介する取り組みとして、今すぐ効果が現れるものではないとしても、資するところがあればよいなと考えています。改修工事で休館が続いた年度後半、館外で講座や催しを複数行いました。安岡地区にできた複合施設のやすらガーデンを会場にした催しでは、「学芸員による美術講座」、アメリカの美

		術館が所蔵している狩野芳崖の作品の複製画７点を出張展示した「移動美術館」と、それに伴う美術講座、ワークショップ、ショートトークを実施しました。先週末には、美術館近くの長府苑で、次年度に特別展を予定する画家堀研（ほりみがく）さんの作品展示および作家を迎えてのイベントを複数実施したところです。「イ　出前講座」には夏休み期間中の児童クラブからの要望が近年多く届くようになりました。学芸員がフル稼働した様子をご確認いただけると思います。「ウ　学校行事・実習等受入」では、特別展に伴い学校からの来館の機会が増えた面があります。普及教育活動全体の参加者数で見ますと、昨年度２，５６５人から約１．６倍の４，２７３人となりました。全体を通して今年度の普及教育、非常に精力的に実施し、多くの方にアプローチしたと思いますが、同時に真に美術教育、芸術の普及が進んだのか否かは、今後の継続性が問われるところかと思います。美術館からの報告は以上となります。
質疑	五十嵐会長 河野委員 五十嵐会長 文委員 五十嵐会長 事務局	ありがとうございました。今ご説明いただきましたが、皆様の方からご質問等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。開館４２年目で改修工事をおこなったにも関わらず、来場者数が増えたということでよかったと思います。河野委員、いかがでしょうか。 休館が長かったので、造形展をこちら是非させてもらいたかったのですが、出来なかったのが非常に残念ですが、今後もよろしくお願いします。 今年は造形展はなかったということですね。芸術文化祭の方で毎年出していただいていますが。文委員、何かございますでしょうか。 卒業制作展を残念ながら展示することが出来なく、別の場所でやりました。美術館との関わりをもっと深めて、学生が学べる場所としていろいろと一緒に出来ればいいなと思います。今後ともよろしくお願いいたします。 ありがとうございます。東亜大学さんとはいろいろ交流されているんではないでしょうか。 これまでも特別展の機会に合わせたいろいろなジョイント

	（館長補佐）	企画を東亜大学さんとさせてもらっています。次年度以降も是非お互いにお声がけいただき、またさせていただければと思っています。
	文委員	是非よろしくお願いいたします。
	五十嵐会長	ありがとうございます。企画展示「古代エジプト・ふしぎ発見！」では、子どもさんたちがオープニングでとてもかわいくお歌を歌っていただきました。戸﨑委員いかがでしょうか。
	戸﨑委員	あの時は大変お世話になりました。子どもたちも大変印象に残ったのと、年長児が対象でしたが、その親御さんに招待券をいただいて、どのぐらい使われたのか聞いてみたら、その後にも随分行かれていました。子どもさんが行きたいと言って、一緒に行ってくださった方もいました。子どもと一緒に行くと、子どもが自分の好きなところを回ってしまうので、親御さんだけでゆっくり行ってくださいと伝えましたが、親子で一つの作品を見るいい機会を与えていただき、とてもうれしかったです。子どもたちも美術館で歌を歌えることはなかったので、とても印象に残ったようで、卒園式で思い出の色々な写真を映し出したのですが、美術館での集合写真を出したら歓声を上げながら見ていました。
	五十嵐会長	ありがとうございます。子どもたちも印象深かったということですね。私は、ルドゥーテ展を見せていただき非常に感激いたしました。虫眼鏡で絵画を見るという経験もなかなか面白いものだと思いました。もうお一方、原田委員いかがでしょうか。
	原田委員	エジプト展では見るだけでなく、実際に香りをかいでみましょうのコーナーを小さい子が横にいたのですが、それと同じ感覚で入ることができました。すごく良かったです。
	五十嵐会長	五感で楽しめますね。
	原田委員	残念なのが、都合がつかずにバックヤードツアーに行けなかったことです。もう少し増やしてもらえたら参加したいです。
	五十嵐会長	いかがでしょうか。
	事務局	ありがとうございます。バックヤードツアーなど日頃やって

	（館長補佐）	こなかった催しも反響がなかなか多く、今後もぜひ検討していきたいと思います。
	五十嵐会長	よろしくお願いいたします。やすらガーデンでも催しがあったということで、反響はいかがだったでしょうか。
	事務局 （館長）	初めて作品を外に持ち出して楽しんでいただくという企画をやすらガーデンでさせていただきました。それを目的で来られた方もいましたし、他の用務でたまたまやすらガーデンに来られた方にもお声がけして見ていただくこともしました。美術館には目的をもって来られますが、こういった機会を通して、思わぬ形で美術館に触れていただいた事が、今後の来館に繋がればいいなという思いで行いました。この取り組みがどういう成果になるか楽しみにしながら、今後も進めていきたいです。大変感動してくださった方もいらっしゃるので、この取り組みは初めておこないましたが、何らかの形で外に出る取り組みが継続ができればと思います。
	五十嵐会長	ありがとうございます。多くの方に名画に触れていただけることはうれしいことです。市役所１階にも展示がありますが、皆様どうですか。見られていますか。何月ぐらいで替えられるのですか。
	事務局 （館長補佐）	ありがとうございます。だいたい、１か月半から２か月弱のペースで、美術館で開催中の展覧会に連動した内容を考えながら展示を替えています。
	五十嵐会長	ありがとうございます。ほかに皆様から何かございませんか。よろしければ次に進まさせていただきます。
議題２ 令和８年度事業計画について (1) 予算	五十嵐会長	それでは「議題２　令和８年度の事業計画について」、事務局からお願いします。
	事務局 （館長）	続きまして「議題２　令和８年度事業計画について」でございます。資料の８ページをご覧ください。「１　予算」についてにご説明させていただきます。後ろの別紙７をあわせてご覧ください。令和８年度の当初予算は、表にあるとおりの６つの事業に係る経費として、合計で１億７，８２０万４千円を計上しております。前年度の予算額に比べ、２，５８２万１千円の増

		となっており、前年度比は１１６．９％となっております。増額の主な理由は、美術館改修業務に要する経費１，８９０万円の増額になっております。計画している改修業務の内容は、電気設備更新工事として工事請負費を５，０００万円、外壁改修の実施設計の委託料として６００万円計上しております。電気設備更新工事は、老朽化した受変電設備を取り替え、更新するもので、外壁改修実施設計は建物本体の外壁の健全度調査とその後の改修をどのように進めていくべきかなどを検討し、実施設計を行うものです。また、令和７年度は１１月中旬から休館していたこともありますが、展覧会開催業務においては、前年度から５７４万８千円増となっています。計画している展覧会の内容の後ほど詳しくご説明させていただきます。
2 業務別 事業計画 (1)管理運営 業務	事務局 （館長）	続きまして、「２　業務別事業計画」についてです。「管理運営業務」は、事業報告の際にご説明したとおり、美術館の経常的管理及び運営業務で、令和８年度も事故のないよう着実な業務の実施に努めて参ります。
(2)美術館改 修業務	事務局 （館長）	美術館改修業務は、先ほど令和８年度予算のところで説明したとおりですが、施設設備の老朽化が進んでいくなか、計画的な改修や予防保全措置を行い、施設の長寿命化を図って参ります。続きまして、「（３）展覧会開催業務」のところからは、学芸員である館長補佐の渡邉からご説明させていただきます。
(3)展覧会開 催業務	事務局 （館長補佐）	「（３）展覧会開催業務」です。企画展示を２本、所蔵品展示４本を予定しています。お手元に小さな冊子の年間スケジュールがあるので、そちらもご覧いただけますと幸いです。まず企画展示は、特別展「ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち」を開催します。アール・ヌーヴォーを代表する画家として人気の高いミュシャですが、下関市立美術館も５点の作品を所蔵しています。ミュシャの名前を冠した特別展は９５年に開催がありますが、それ以降、所蔵品展のなかで紹介する程度の機会に留まっていましたので久しぶりの特別展の開催になります。ミュシャ作品を多く所蔵する OGATA コレクションの協力のもと、代表作を含む約１５０点の作品を展示します。作品展示と同時に、もうひとつの目玉となりそうなのは、ミュシャの作品世界を表現した映像展示です。大画面を用いた没入型映像空間をこの部屋に作ろうという計画をしています。作品鑑賞と映像体験によるハイブリッドな展覧会として、これまでにないものをと考えています。企画展示のもう一つは、特別展「堀研 巡り廻る」です。先週末の長府苑での催しは、この特別展のプレイベントとの位置づけで、「来年やるよ」とのよい予告になり

		ました。堀研さんは、下関市豊浦町湯玉出身の画家で、現在宇部を拠点に活動しておられます。弟さんの堀晃さんも同じく画家で、堀兄弟としてご記憶、ご存じの方も多くいらっしゃると思います。下関市立美術館は堀研さんの作品も複数所蔵しており、一度きちんと特別展でご紹介するべき方として準備を進めてきました。ここから１０か月程度を残すところとなりましたが、久光学芸員を中心にさらに調査を重ねて準備が進められていく予定です。資料の９ページ、所蔵品展示は４本を予定しています。生誕１５０年にあたる萩出身の日本画家 松林桂月を特集する所蔵品展がＮｏ．１６９、そして、箱書きや額の裏側など、作品そのもののみならず、作品に付随する情報に注目する展示など、所蔵品展が「いつ行っても同じ」とならないさまざまな工夫を考えて計画しています。８月末から１０月の所蔵品展Ｎｏ．１７２は、後ほど館長からご紹介しますがＪＲのキャンペーンを想定し、美術館のコレクションから特に主要な作品を選定して名品選とする予定です。美術館の醍醐味は所蔵品展と実感していただけるよう、所蔵品展も充実を図ります。「エ 下関市役所出張展示」、開催中の展覧会と連動する内容を意識して準備して参ります。「オ」の下関市芸術文化祭・美術展及び美術館の貸館展示である市民ギャラリー、新年度も関係者と協力しながら実施して参ります。「カ 広報」では、公式ウェブサイトのほかＳＮＳによる情報発信を引き続き進めます。今年度、特に良い手ごたえを得たショート動画による広報にも取り組んで参ります。
(4)美術作品資料収集保管業務	事務局 （館長補佐）	続きまして「（４）美術作品資料収集保管業務」です。引き続き優れた美術作品の収集に努めて参ります。「イ 所蔵品貸付」は、宮崎県の都城市立美術館での岸田劉生展への作品貸出しを予定している旨ご報告します。「ウ 保存修復」については、環境維持を中心に適切に対応して参ります。
(5)調査研究業務	事務局 （館長補佐）	「（５）調査研究業務」です。令和８年度には年度末に予定する研究紀要の発行を念頭に、調査研究活動の一層の充実を図ります。
(6)普及教育業務	事務局 （館長）	１１ページの「（６）普及教育業務」です。「ア 講座、ワークショップ」については、令和８年度は長期の休館の計画はなく、展覧会開催と並行してどれだけ意義あるものを実施していけるか、挑戦の年でもあると思います。「イ 学校との連携」では、出前授業・講座として主に中学校で、一部小学校や社会人対象も含みますが、学芸員による出前授業「下関学（楽）推進事業」の枠組みが新しく加わりました。そのほ

		か、国立科学博物館の呼びかけで進められ、下関市内の博物館施設でも実施している「教員のための博物館の日」への対応も予定しています。このところ特に児童クラブからの出前授業の要望の高まりがみられます。どの枠組みであっても美術館として良い内容のものを実施し続けていきたい、大切にしていきたいと思っていますが、学芸員が特に夏場に疲弊してしまうほどで、１日に２本の対応をする日もあり、やり方を整理しながら出来る範囲で今年度も対応していきたいと思います。それとともに、いかに美術館への来館、関心に結び付けていくのか追求していく必要もあると思います。
(7)その他の事業	事務局（館長）	最後の「（７）その他の事業（外部団体との連携等）」についてご説明させていただきます。今年の１０月から１２月、山口県がＪＲデスティネーションキャンペーンの開催地となっております。デスティネーションキャンペーンとは、ＪＲ、地元自治体、観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンで、この期間中、長府観光協会を中心とし、長府にある神社、お寺、その他の施設が連携、協力し、長府地区を盛り上げ、多くの観光客に来ていただくための取り組みを進めていきたいと考えております。当館として、この取組に積極的に協力し、この期間に係る展覧会として、所蔵品展においては当館の収蔵作品のなかでも特に人気のある名品を中心とした展示を、また、１１月からは特別展として市内外から誘客が期待できるミュシャ展を開催し、長府地区の盛り上げに協力したいと考えております。令和８年度事業計画についての説明は以上でございます。ご意見等どうぞよろしくお願いいたします。
質疑	五十嵐会長 西村委員 事務局（館長補佐）	ありがとうございました。では、今の説明について、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。今年はミュシャ展が開催されるということで、以前開催した９５年に見せていただき感動しました。同じような感動が味わえると思うと楽しみです。西村委員いかがでしょうか。 前回のミュシャ展を見させていただき、すごく感動した印象がまだ残っています。今度は映像を生かした新しい世界観で堪能することが出来るのが楽しみです。前回のエジプト展やルドゥーテ展の時のようなワークショップが今回もあるのでしょうか。 ルドゥーテ展やエジプト展にも足を運んでくださったとのことで、ありがとうございます。今のところは決まっているも

		のはないですが、単純に視覚的に見て良かったという展覧会以上に、自分が参加し、体験することを通して楽しんでいただける要素を何らかを考えていきたいと思います。ご提案があれば教えていただけたらとも思います。
	五十嵐会長	ありがとうございます。ほかございませんでしょうか。観光コンベンション協会の酒井委員お願いします。
	酒井委員	ＪＲのデスティネーションキャンペーンは観光コンベンション協会としてもしっかり取り組んでいこうと思っていますので、ミュシャ展は非常に魅力的なコンテンツとしてＰＲさせていただきたいと思っています。
	五十嵐会長	ありがとうございます。観光と美術館が協力して長府を盛り上げていかれるということで楽しみにしています。森永委員いかがでしょうか。
	森永委員	私たちのところへ遊びに来るのは、子育て真っ最中のお母さん方です。子どもさんは、お母さんたちが心にゆとりを持って、見て、和んでくれたら子育てにも役立つと思いますので、コマーシャルしていきたいと思います。夏休みを中心にたくさんワークショップをされていることを知らなかったのですが、未就学のお子さん対象のものもあったので、それもお知らせしていきたいと思いました。ポスターがあればとてもいいなと思います。ポスターでなくともチラシのようなものがあるとうれしいなと思いました。
	五十嵐会長	言われるとおり、子どもさんたちの精神的安定には、お母さんたちが美術展や音楽会等に足を運ばれたら、また違ってくるかなと思います。ありがとうございます。堀研さん、地元出身の方の展覧会もあるということで楽しみです。朝原委員よろしいでしょうか。
	朝原委員	大変な活動をありがとうございます。特にうちの学校もお世話になっております。今、私は主に高校生と接するのですが、高校生はＳＮＳで得られる情報が９割以上ですので、それを活用するのは非常にいいと思いました。それとうちの学校で一時期流行ったのが、エジプトの匂いを作るのが噂を呼び、職員の間でも広まったことがありました。静かにものを見るというよりは、インパクトのあるもの、ワークショップと言われました

		が、そのようなものを上手く利用するのがいいのかという気がしています。案内をもらえば階段にポスターを貼っていきますが、そのポスターを見るというより、噂が流れたときにそれを見るという感じになるので、上手に使っていただければと思います。流せば人が来るという時代ではないので大変だとは思いますが、いろんな部分で努力していただけたら、私たちも協力していきたいと思います。
	五十嵐会長	ありがとうございます。ＳＮＳやサイトを使って若い方にも宣伝し、足を運んでいただけるとよいです。文委員いかがでしょうか。大学生たちにも足を運んでもらえるような何かありませんか。
	文委員	美術館で展示があるときに学生たちと一緒に展示を見にることはありますが、やはり自ら美術館に行くということは非常に少ないです。美術館が楽しい場所であることをもうちょっとインプットできるように私たちもして、美術館に行きおもしろいことを体験をしようと思えるようになるといいなと思います。そういう意味でＳＮＳを活用されていることは非常に興味深く思っていますが、こういう情報はどこから手に入るのかが少し気になりました。Youtube があるのは知っていますが、Facebook も見たことがあるのですが、若い方は Facebook はあまり使わず、それよりも Instagram や TikTok を使っていると思うので、もう少しそういった情報が出ていくとよいと思いますので、情報の出し方を工夫されたらと思います。必要であれば私たちの大学と連携して一緒に考えていくというのも出来るかと思います。
	五十嵐会長	貴重な御意見で、大学と一緒にノウハウを考えていくのもいいですね。中学生はどうですか。
	河野委員	中学生が自ら美術館に足を運ぶという機会はあまりないのではないかと思います。ただ、中学校の展覧会が行われている時には自分の絵が飾られていることも含めて足を運びます。子どもたちが本物に触れる、美術館に足を運ぶという体験を小中学校の時代にどんどんしていくことが大切だと思います。今後もよろしくお願いします。
	五十嵐会長	ありがとうございます。私は専門が音楽ですが、美術も大好きで旅行に行ったら必ず美術館に行くようにしているのです

		が、金沢の２１世紀美術館はいつも賑わっていて、お客さんがいっぱいで、いろんな企画展をやっていて、広いですのでいろんなコーナーがあるのですが、音楽ホールでも美術作品の宣伝をしてあったり、美術館では音楽ホールのイベント紹介をしています。下関も上手くタイアップしていかれると、好きな方たちはどんどん増えるのではないかと思います。足を運んでもらっていいものを見ていただけるためにはどうすればいいのかが大事だと思います。学芸員が出前講座で頑張っているとのことですごくうれしく思います。どういうところに行っているのかを具体的に教えていただいてもよろしいでしょうか。
	事務局 （館長補佐）	ありがとうございます。どういうところに出前講座に行く機会があったかということですと、別紙６の資料の１ページ目に出前講座についてまとめた表があります。ご覧いただいてお分かりのとおり、夏場の需要が非常に高く、同じタイミングで夏休みの子どもたちを対象とした創作系のワークショップの要望がとても多かったです。学芸員もこのような機会を重ねることで、よい訓練になり、色々な経験を積ませてもらっていますが、なかなか大変でした。幅広い世代へのアプローチをこなしていきたいので、こういった取り組みをしていることも皆様に知っていただければと思います。
	五十嵐会長	ありがとうございます。美術の専門家の話を直接伺えることは、体験する子どもたちもうれしいかと思いますので、ぜひ続けてください。重井委員いかがでしょうか。
	重井副会長	私は美術館のサポート役として活動してきましたが、美術館自体にもっと魅力をつけてもらい、市民の憩いの場となるような企画などをしていただけたらと常々思っています。１月に大分市立美術館に行く機会があったのですが、常設展用の展示場が別にありました。下関市立美術館はたくさんのいい所蔵品があると聞いていますので、それを月単位で見られるようなシステムを作っていただけるとまた違うんではないかと思います。それと、楽しみの一つとして、大分市立美術館はレストランも充実していましたし、売店業務といった展覧会以外の施設面を充実させて、来てよかったと思ってもらえる、ゆっくり楽しめる施設を作っていくべきではないかとも常々思っています。また、エジプト展やアンパンマン展のように、親子で来て、子どものときから美術に触れられる企画をもっとされたらいいと思います。下関に関係する内容にこだわることなく、いいもの

		はやっていただけたらと思っています。予算面で大変なこともあると思いますが、美術館はその都市の文化の中心と思いますので、やはりそこが充実しているところは、市も発展していると思います。よろしくお願いします。
	五十嵐会長	ありがとうございます。食事をしたり、飲み物を飲めたりできる場所があればいいと思いますが、なかなか難しいですか。
	事務局 （館長）	ご提言ありがとうございます。現在、ご存じのとおりレストラン事業や喫茶コーナーは長い間できていません。再開するのも難しいところもありますが、何らかの形でご要望、ご期待にこたえるようなことができたらと思います。ひとつ予定されているのが、長府地区について城下町長府エリアも含め、都市再生整備計画として大きな事業を進めていこうという計画が市としてあります。先般、長府苑を市が取得しましたが、それに併せて美術館前の広場を周遊の拠点広場として再整備し、長府庭園、関見台公園、美術館、長府苑をひとつの大きなエリアとして周遊できるように目指そうという動きがあります。その中で、拠点広場をどのように使っていこうかという中で、ひとつはキッチンカーを出すような機会を設けたりなどを検討しているところです。これは美術館の事業ではなく、もっと大きな事業で進めていいているのですが、その中で美術館に来た方が食も楽しめるような空間を提供できるのではないかと私どもも期待しており、こうしたことも含めて魅力のあるエリアにしていきたいと思っています。
	五十嵐会長	ありがとうございます。長府地区がますます魅力的になって、美術館の来客がますます多くなるといいですね。では、７年度、８年度両方合わせて何についてでもいいので一言ずつお願いします。西村委員お願いします。
	西村委員	７年度も足を運ぶ機会が多く、市美展は毎年見ているのですが、立体作品が前年度は少なかったのですが、今年度はすごくたくさん増えていて、市民の方々に芸術を作っていこうという方が増えているんだと今年度は実感ができました。展覧会の展示内容もとても素晴らしく、下関のエジプト展に行かれてすごく面白かったのをきっかけに広島や福岡でやっているエジプト展にも行ってみたいという知り合いの方もいらっしゃいました。夜活に参加した知り合いの方が、ほかの参加した方々と触れ合いながら美術に関わることができ、特別な時間として楽

		しかったという意見もいただいています。令和８年度も引き続き楽しい催しがありそうでワクワクしています。楽しみにしています。
	五十嵐会長	ありがとうございます。酒井委員いかがでしょうか。
	酒井委員	初めてこのような会議に出席しましたが、美術館が企画展だけでなく、たくさんの活動をしているのを知り、びっくりしました。今後も続けていってもらいたいです。ただ、ＰＲがなかなか難しいのかなと、お話伺うなかで思いました。もっと広めることができたら、皆さんにもっと関心を持っていただけると思い、何かいい方法がないかを考えています。これからも出来ることがあればやっていきたいと思っています。
	五十嵐会長	ありがとうございます。私たちも出来るだけＰＲを心がけて、美術館を活性化していければと思います。森永委員お願いします。
	森永委員	赤ちゃんや小さい子どもを連れて美術館に来ることはとても勇気がいることと思いますが、近いうちに「赤ちゃんを連れて美術館に行こうツアー」をしてみたらいいなと思います。平日の来館者が少ないときに企画してみたらいいのかなと思いました。外で子守りをしながら、泣いたらすぐに受け取るといった、そのようなことが出来たらいいなと思いました。また、小さい子どもたちが喜ぶ、やなせたかし展、絵本のエリック・カール、いわさきちひろなど、前にこちらに来たときは私もすぐに来たのですが、そのような内容のものを企画していただけたらうれしく思います。
	五十嵐会長	赤ちゃんを連れてこれる美術館になったら素敵ですね。ぜひ、ぜひ実現してください。では戸崎委員お願いします。
	戸崎委員	子どもの連想はすごく面白いし、大人と違う視点でものを見ます。騒がない方がいいなとは思いますが、集団で来るときは子どもをお客さんのように扱われ、何をしても許されるみたいな感じがありますが、きちんと守らなければいけないことは一緒に教えながらやっていきたいと思っています。それから、チラシなどでいろんな事をされているんだと知りました。やすらガーデンでのイベントには行かれませんでしたが、とてもたくさんの方がいらしたと聞きました。美術館に自分で行くのはな

		かなか大変ですが、美術館が来てくれるという発想はすごいなと思いました。大事にされている絵とかも持ちだしてみんなに見てもらいたいと思ったことはすごいなと思いました。いろいろと活動されていて、私たちはうれしいですが、学芸員はひとつの企画展をされるだけでも大変だろうと思いますし、出前講座も来てもらいたいと思いますが、準備面等でもいろいろと心痛されているのではないかと思い、体を壊さないように頑張ってください。
	五十嵐会長	お気遣いまでありがとうございます。美術館の方々が身を粉にして頑張っているのが分かります。ありがとうございます。河野委員お願いします。
	河野委員	資料にある出前講座について、中学校、小学校にあまり行ってないという資料を見て大変ショックを受けています。もっとみんなが使えばいいのにと思います。私自身、長成中学校のときに一緒に出前講座をさせていただいて、いい勉強になりました。子どもたちは、学芸員さんすごいなとか、美術館すごいなとか、映像ですが、本物に近いものが見れるという体験が非常に貴重です。あまり無理は言えませんが、ぜひ一緒に小中学校の美術の授業の中でやっていただければと思います。
	五十嵐会長	ありがとうございます。学芸員が少なくなられたというのも大変なことだと思いますが、これはまた増やされる予定はありますか。
	事務局 （館長）	人数については、昨年度がトータルで１０名だったのが、令和７年度が８名になりました。８名のうち５名が学芸員です。学芸員の数としては１名減っています。前館長が学芸員でしたが、７年度に異動になりその数が減となっております。学芸員の人数は現状維持で来年度もやって行く予定です。
	五十嵐会長	ますます忙しくなりますが、頑張ってください。文委員いかがですか。
	文委員	昨年のルドゥーテ展の時に、１年生の学生たちと大学基礎という授業の一環で来て、一緒に作品を見て、講義も聞きました。学生たちも喜んでいた記憶があります。今年もそのような感じで、１年生から美術館に一緒に来て、いろいろ体験したいと思います。それだけでなく、やはり直接足を運び、自分で美術館

		と関わりを持つという事が重要と思いますので、私たちも工夫してみます。そして、ＳＮＳについての情報を大学の方にも出して学生たちにアプローチできるようしたいと思っています。もう少し関わりを持つように私たちも考えたいと思います。いつも素晴らしい展覧会をしてくださっているので、いい展示をしていただくと、また展示を見に行きたいとなると思いますので、またいい展示を作ってくださいとお願いします。体調を崩さないようにともお願いします。
	五十嵐会長	ありがとうございます。芸術文化祭の美術展の時に、搬入搬出で東亜大学のアートデザイン科の方々にアルバイトをお願いしています。私たちよりも専門ですので、とても丁寧に運んでいただいて毎年非常に助かっています。原田委員お願いします。
	原田委員	先程会議がありまして、毎年行っている「城下町長府時代祭り」が今年で１０回目になります。記念大会で、１１月１５日に決まっています。残念ながら美術館は休館日で、その前後もずっと休館になっています。時代祭りは長府１８００年の歴史に関わるものでもあり、もう遅いのでしようがないですが残念です。長府の１８００年の歴史のことを小さなコーナーで構わないので、事前周知というかたちでやっていただけるとうれしいと思います。１０年ぐらい前に、館外で城下町アクティブクリエイティブクラブ主催で２年続けて音楽会をしたことがあります。そのときは子どもたちもたくさん来て、豊浦小や長府中の金管の子どもたちも来て楽しくやりました。また、公園整備がされますので、それが終わりましたら、機会があればそういったことも一緒におこなっていけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。
	五十嵐会長	ありがとうございます。長府にある美術館ですので、長府の町の活性化のために一緒にいろいろとやっていけたらと思います。最後に朝原委員お願いします。
	朝原委員	社会教育全般でも、ひとつのところがひとつのことをするのではなく、コラボしたりいろいろな方法があろうかと思います。そういったことも考えながら、美術館の立場を有効に発揮できる方法を探っていかないと、美術館だけでというのは限界があるのではないかと思います。本校でも話題となるようなトピックがあれば、言っていただければ高校生の情報網と伝達能

		力はすごいと思いますので、何か協力できることもあればよろしくお願いします。
	五十嵐会長	ありがとうございました。皆様、それぞれの立場から貴重なご意見をありがとうございました。
	事務局 （館長補佐）	ありがとうございました。皆様方の御意見を伺いながら、スケジュールを今から変えることは難しいので、別の形でご協力できる方法がないかと思います。学芸員がみんな疲弊しているとご心配頂いてますが、ご要望があれば喜んでといつも思っておりますし、いろいろな枠組みで美術館からアプローチしたいと思っています。もちろん来てもらいたいですし、そればかりではなくこちらからも出向いて行く機会もさまざまな枠組みで増やしていきたいと思っております。ぜひ忌憚のない御意見を聞かせていただきつつ、ご要望があれば気軽にお声がけしていただければうれしいとあらためて思いました。ありがとうございます。
6　その他	事務局 （館長補佐）	「その他」ということで、リストアップされた議題に縛られずに皆様方から何か御意見を頂戴するような内容がありましたら事務局の方にお願いします。
	五十嵐会長	皆様の方から何かありませんか。では、お返しします。
	事務局 （館長補佐）	それでは閉会といたします。館長から一言ご挨拶させていただきます。
7　閉会	事務局 （館長）	皆様、今日は大変お忙しいところご参加いただきありがとうございました。皆様からいろいろな意見をいただきまして、激励やお礼のメッセージもたくさんいただきました。それから、こういう風に進めたらいいなという提言もたくさんいただきまして、そういった取り組みができればいいなと思います。まずは下関市立美術館が下関市民の皆様に親しまれて、何度も足を運びたくなるような美術館になるように、美術館が持っている資源を活用して、魅力的な美術館になるように令和８年度も職員一同努力してまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今日は、ありがとうございました。